

# 広報きもべつ

4  
2013

喜茂別の「みらい」を知る

みんなのアルバム1月～3月

四季の歌

町立クリニックスタッフ紹介!

女性にとって大切なレディース検診!

行政版広報きもべつ



保育所元気まつりにて

# 喜茂別の「みらい」を知る

喜茂別町の主要な産業である農業。その農業をさらに魅力的な産業にするために、農産物の栽培から加工・販売までを行う6次産業化の動きが全国的に広まっています。喜茂別町では、商工会、3月に設立された観光協会と連携し、地域振興施設「みらい」において、特産品の加工グループの育成と、農・商・工連携による6次産業を推進していきます。地元で採れた

農産物を加工し魅力のある特産品を作る場として、また、加工技術の向上や継承による人づくりの拠点として地域の活性化の一端を担い、さらに、災害時の炊き出しをする施設として地域振興センター「みらい」がオープンしました。「みらい」の施設内部と町の考え、加工グループの声を紹介します。

- 所在地 喜茂別町字喜茂別293-1、293-4
- 建築面積 177.48㎡
- 延床面積 340.20㎡
- 構造 鉄骨造2階建
- 着工 平成24年10月12日
- 竣工 平成25年2月28日



**ガス回転釜**

蒸す、茹でるなどさまざまな加熱調理が可能なガス回転釜



**食品加工室1**

おもに味噌加工を意識して作られた低めの作業台や作業台内側に膝等がぶつからないよう配慮された調理設備が設置されています。

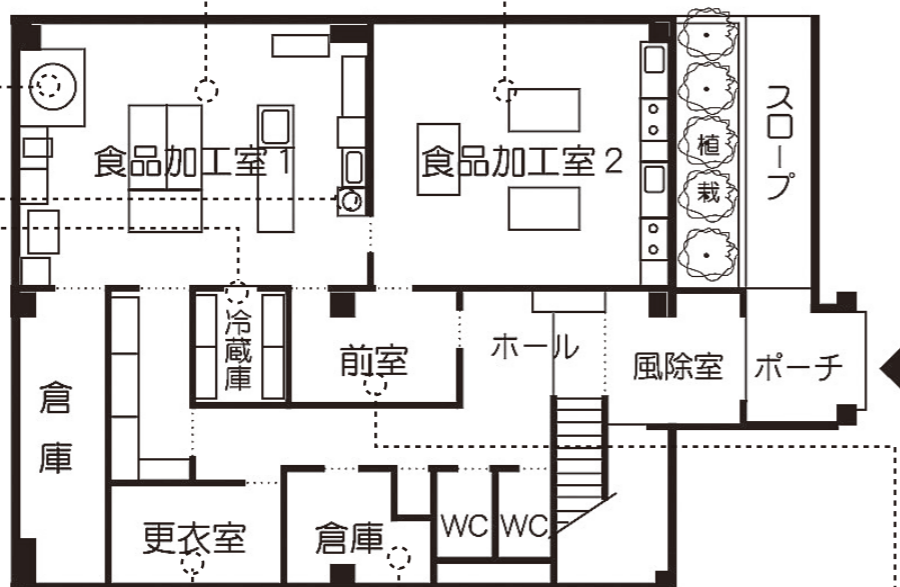


**食品加工室2**



**冷蔵庫**

入口が二か所ある大集容量の冷蔵庫



**1F**



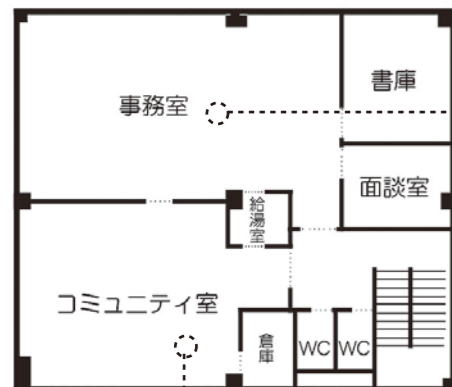
**ドラフト洗米機**

味噌づくりに欠かせない加工機材も導入されています。



**倉庫・更衣室**

倉庫や更衣室も設置



**2F**

**前室**

食品加工に何より重要な衛生面に配慮した前室を完備

**事務所**

商工会事務所と観光協会事務所が入ります。

**コミュニティ室**

町内会の会合や、災害時の対策本部として利用されます。



差し口が赤い災害用コンセント

## インタビュー

(写真左から)  
役場産業振興課商工観光係  
**丸屋 勉係長**  
**麦島 泰子主事**



「町の特産品開発・研究の場として、多くの町民が利用する施設となってほしいです。ここで生まれた特産品や加工グループの活躍が町の活性化につながるとういいですね。」と丸屋係長。「災害時用のコンセント(自家発電)を設置、水害に備えて基礎部分から高めに設計するなど非常時の対策にもしっかり対応しています。」と設計に関わった麦島主事。他にも、次世代エネルギーとして注目されている地中熱利用ヒートポンプシステムを利用した冷暖房を取り入れるなど、町の「みらい」は前を見据えて確かな1歩をふみ出しました。

## インタビュー

4月1日から麹づくりもはじまっています!



写真2列目左から 富田加代子さん、河田美和子さん  
前列左から 鷹羽京子さん、小松平博子さん、渡辺千代さん

## JA女性部のみなさんにお話を聞きました!

「女性農業者喜茂別プロジェクト(JA女性部)で味噌加工をはじめることになりました。味噌だけでなく、大豆やアスパラなど地元でとれた野菜の加工・販売を行い、魅力ある商品を製造していきたいです。加工作業に携わるだけでなく、会員として加工品づくりを応援してくれるサポーターを募集して、喜茂別でとれた自慢の野菜で地域全体が活性化していく活動となるよう頑張ります!応援よろしくお願いします!」

農産物の保存方法に一工夫を加えた加工品だけでなく、健康志向、市場ニーズなども加味しての商品開発となるような女性目線から広がるアイデアに期待しています。

## 名称決定! 地域振興センターみらい

地域振興施設の名称が「地域振興センターみらい」に決まりました。

町民から寄せられた案の中から覚えやすく、親しみやすい名前であることから山本芽依さん(喜茂別小3年)、山本佳依くん(喜茂別小3年)、山本紗衣さん(喜茂別中2年)、河田美和子さんの名称が採用され、「喜茂別町地域振興施設」名称選考委員会により決定されました。

## 第42回 喜茂別中学校 卒業証書授与式

**喜** 茂別中学校体育館にて、第42回卒業証書授与式が行われました。小田篤志校長が式辞の中で自己責任の重要さと出会いの大切さを語る中、卒業生(男子5名、女子5名)が、真剣な面持ちで聞き入っていました。在校生からは、1年間学校の中心となって活動してきた卒業生に対し感謝の言葉が送られました。閉式の辞の後、在校生から花束を受け取り、体育館を後にしました。



喜茂別を巣立つ10名



**道** 内のスキー場をアジア圏の旅行会社などに売り込むイベントHokkaido Snow Travel Expo 2013が留寿都村で開催され、喜茂別町でも町民交流イベントとしてローカルフード体験が行われました。中国やマレーシア、タイなどから訪れた約70名が、町内5店舗の飲食店の食べ歩きを楽しんでいました。同時に開催されたシーニックパイウェイで制作されたスノーキャンドルが町内を彩る中、アットホームなおもてなしに和む姿が見られました。



鍋を囲んでワイワイ

## 心通う交流会

**ふ** れあい福祉センターにて、小学生とデイサービスとの交流会が行われました。マジックショーや大喜利など、お年寄りを楽しませる工夫を凝らした余興を喜茂別小の児童が披露していました。一緒に簡単なゲームなどをして世代間交流を深めていました。



賑やかな交流となりました



甘い香り

## 心もってます!

**農** 村環境改善センターにて、JAフレッシュミズのメンバーによるチョコレート作りが行われました。毎年バレンタインデーに向けて行われ、今年は8名が手作りチョコ制作に参加しました。参加者は農作業で忙しくなる前のひとときの交流の場としても楽しんでいました。



いくつものシュプールが描かれました

## 白熱!!

**喜** 茂別町小学校スキー大会が開催され、喜茂別小学校と鈴川小学校の児童がアルペンやクロスカントリースキー競技を行いました。児童たちの「自分の新記録」目指して頑張る姿が随所に見られました。クロスカントリー競技でのチームリレーも行われ、児童や保護者の声援が飛び交いました。



集中力と瞬発力が試されます!

## 後集中!

志地区かるた大会が農村環境改善センターにて開催され、後志管内のかるたチーム(全16チーム)が腕を競い合いました。静寂な緊張感の中、読み札が読まれると盛大に鳴る払い手で畳を叩く音が響き渡り、小学生の部ではチーム「蝦夷富士」が優勝、中学生の部ではチーム「喜茂別・雪」が準優勝し、2月24日に定山溪で行われた全道かるた大会へ進出しました。

3/19

3/15

2/26

2/23

2/22

2/21

2/13

2/8

2/1

1/20

## 小学校卒業式



思いを胸に「YELL」を合唱(喜茂別小)

## 第66回 喜茂別小学校 卒業証書授与式

**喜** 茂別小学校体育館で行われた第66回卒業証書授与式。小林稔史校長から卒業証書を授与された後、卒業生が一人ひとり、両親への手紙を読み上げました。仕事忙しい中、世話をしてくれたことや話を聞いてくれたことへの感謝の気持ちが綴られており、読み上げる最中、堪えきれずに涙する卒業生もいました。この日、周囲への感謝を胸に11名が巣立っていきました。



**小** 出悠希さんと佐々木允俊くんの2名が晴れやかに卒業の日を迎えました。松田安弘校長からの祝辞として、野球少年団ファイターズでバッテリーを組んだ二人の活躍や、スキー大会や読書感想文コンクール、和太鼓演奏などさまざまな学校活動においても優れた2人の存在を称えるとともに、最終学年の役割を立派に果たした二人の功績が語られました。



笑顔で全員集合です!(鈴川小)

## 寒さに負けないぞ!

**保** 育所園庭にて、「元気まつり」が開催されました。今年は、土曜の保育参観も兼ねて行われ、園庭に作られた雪の滑り台から肥料袋にのって競う親子そりリレーや、雪の中からオレンジを探すゲームなど、冬の遊びを親子で楽しんでいました。



大人も童心に戻りました!

## 太鼓学習!

**農** 村環境改善センターにて、喜茂別中学校3年生が伝統芸能体験として和太鼓学習を行いました。指導者の吉田ひろみさんの下、日本における太鼓の歴史や木の種類による響きの違いなど、和太鼓にまつわる話を織り交ぜた実技授業となりました。初めてバチを握る生徒が多い中、最後には全員で「羊蹄太鼓」を完奏することができました。2時間の太鼓学習を終えて「難しかったけど、音が揃うと楽しかった!」「手に豆ができました。」と生徒は語っていました。



めざせ太鼓の達人

## うさぎの足跡発見!



野鳥入ってくるかな~

# 2月



児童全員が豪快にジャンプを披露!

## ジャンプ!

**鈴** 川小学校にてスキー大会が開催されました。アルペンやクロスカントリーでは日ごろの練習の成果を発揮しようと、全力で取り組んでいる姿を披露しました。ジャンプ競技では1年生も果敢にスピードをあげてジャンプし着地を決めていました。雪上運動会や、昼ごはんの豚汁の用意などたくさんの地域の方の協力がみられました。

# 四季の歌

## スズラン俳句会

雑木山向こぶが見へて山眠る  
和菓子選るふと角巻の妣のこと  
後期とや納得して見る初鏡  
山眠る母に葉をぬりし夜  
蝦夷富士や茜の衣裳で眠りたる  
深々と夕日を吸ひて山眠る  
初カメラ眠る山起こさぬように  
山眠る護岸工事の銜して  
木彫の飛ばす木端や山眠る

福井 富子  
高谷羽瑠子  
井上 双葉  
鈴木章実代  
小出 盛子  
吉見 啓一  
佐藤 紅葉  
佐藤 翠虹  
辻口秋草子

小出 盛子  
井上 双葉  
吉見 啓一  
佐藤 紅葉  
佐藤 翠虹  
辻口秋草子

## 弥生



母一人病に臥せて八年目 夜中の電話いつも案ずる  
凍れし日客に使ひしバリカンを 腕にさわりて冷たさを知る  
病む妻に三度の食事つくりをり 思ひあらたに厳しさを  
讃岐よりキャベツや葱を送り来ぬ 元援農生の母の温もり  
差別なく君の笑顔のやさしさよ 良き思ひ出を残し逝きたり  
うらなひの「三碧木屋」我運氣 くり返えし読む家事の間にまに

三間 恵子  
桑原 博美  
飯田 北州  
佐藤百合子  
栄花 豊  
さととみえ

## 如月



雪掻きも日課となりてこの冬は 取ったそばから降り続きをり  
秋の日に手伝ひたりし収穫を 手打ちそばとなり年の瀬に届く  
完璧を目指すは重く重すぎて ひねもす仰ぐ雲のさまさま  
吹雪く日は仕事の息子に「気を付けて」 繰り返し言う母の気持よ  
新たな年を迎えて八十路越え 真直なる道探しつつ生く  
ストックを付きて雪路を散歩する 見馴れし山々遠く眺めて

飯田 北州  
桑原 博美  
さととみえ  
三間 恵子  
栄花 豊  
佐藤百合子

## 喜茂別短歌会



題字：佐藤百合子さん(上尻別)

## 全国中学校 スキー大会!

2月3日に第50回全国中学校スキー大会(富山県)に、喜茂別中学校の渡辺恵理奈さん(3年)と、永井和生くん(1年)が出場、渡辺恵理奈さんがクロスカントリー女子クラシカル6位入賞、クロスカントリー女子リレー3位入賞



リレーの様子(右端)

「大きな大会でしたが緊張はしなかったです。前夜もよく眠れたのでコンディションもよく、いつも通り滑ることができました。」4月からクロスカントリーができる進学先が決まった渡辺さん。さらにハイレベルな技術を身につけ、クロスカントリースキー選手として活躍する日を期待しています!

喜茂別ジュニアクロスカントリースキー少年団 渡辺恵理奈さん(喜茂別中3年)



JOCジュニアオリンピックカップ 2013(3月14日~16日、新潟県)でも、女子クロスカントリー(5kmクラシカル・5kmフリー)で、9位を獲得しました!

## 入賞!

## 喜茂別クロスカントリースキーレース!

2月9日に喜茂別クロスカントリースキーコースにて第11回喜茂別クロスカントリースキーレースが開催され、喜茂別ジュニアクロスカントリースキー少年団のメンバーが入賞しました。

### 【大会結果】(入賞3位まで)

小学2年女子の部	2位	齊藤希樹さん
小学3年女子の部	1位	亀岡朱梨さん
小学3年男子の部	1位	三田歓平くん
小学4年男子の部	3位	笹岡竜也くん
小学5年女子の部	3位	齊藤夢野さん
小学6年男子の部	3位	大西竜椰くん
中学女子の部	1位	渡辺恵理奈さん
中学男子の部	2位	永井和生くん
	3位	武岡 遼くん



初優勝を決めた三田歓平くん



齊藤希樹さん

## 考える力・想像する力・言葉の力

2月26日に喜茂別中学校視聴覚室にて、第30回読書感想文コンクール入賞者の表彰式が行われ、最優秀賞7名、優秀賞12名、佳作22名の表彰が行われ、最優秀者による入賞作品の朗読と講評が行われました。

### 最優秀賞 (写真左から)

- 長嶺 百華さん(喜茂別小1年) 「ずっとそばにをよんで」
- 堀 来羽さん(喜茂別小2年) 「ともだちを読んで」
- 酒井 愛子さん(喜茂別小3年) 「ゆるるシッポの子犬・きららを読んで」
- 丸屋 百愛さん(喜茂別小4年) 「自分をえらんで生まれてきたよを読んで」
- 永井 祥生くん(喜茂別小5年) 「さすらい猫ノアの伝説を読んで」
- 田嶋萌々子さん(喜茂別小6年) 「武士道シックスティーンを読んで」
- 高橋 真夢さん(中学生の部) 「大切なことを読んで」

## 読書感想文 コンクール 表彰



感じる心が育まれています

# 喜茂別町立クリニック開院

喜茂別町立クリニックは、平成25年4月から平成30年3月まで札幌市の医療法人「溪仁会」が指定管理者制度により管理を行うこととなりました。4月8日に開院しますので、誌上で町立クリニックの医療スタッフを紹介いたします。

## 院長あいらひ

喜茂別町の皆さま、はじめまして。  
この春より町立クリニックに赴任いたします、石井と申します。

よく、「専門は何ですか?」と聞かれることがありますが、私には「この病気が診ない」という専門はありません。老若男女、妊婦さんから赤ちゃんまで、誰でも診る「総合医」だと思っただけだらうれしいです。高血圧や糖尿病、ケガやヤケドだけでなく、眼科・耳鼻科・皮膚科の問題、はたまた眠れない、トイレが近いといった身近な悩みまで、どんな相談にも乗りたくと思っています。気軽に足を運んでもらえるような、そんなクリニックを目指します。どうぞよろしくお願ひします!



石井 道人(いしい みちと)院長  
(内科医、日本救急医学会救急科専門医)  
●出身地 東京都

※石井道人院長は5月7日より着任いたします。4月8日から5月10日までは藤原昌平医師が診療を行います。

# ふれあい健康通信

無料

## 札幌にバスで行く! レディース検診!

(子宮がん・乳がん検診)  
年4回:4月22日、7月10日、  
11月20日、2月5日

喜茂別を出発!  
各地区を周り、家の近くからバスに乗ることができます。



途中、トイレ休憩もあります

10:00

到着!

対がん協会札幌がん検診センター(札幌市東区)。用意されたお弁当を皆で食べます。自分で昼食を持っていくこともできます。



(お弁当500円) 事前申し込み制



12:00

検診準備!

検診センターで用意してある検査着に着替えます。



13:00

## 検査を開始!

### 子宮がん検診

20歳以上 各1,000円  
①細胞診~ブラシで子宮頸部の細胞をこすり取る検査。  
②経膈エコー検査~膈内部からの超音波検査。卵巣のう腫や子宮筋腫を見ることができます。

### 乳がん検診

40歳以上1,000円  
①医師による診察・マンモグラフィ検査~乳房レントゲン撮影

### オプションで受けられる検査

●骨密度検査 1,000円  
●内臓脂肪測定 3,000円  
●肺CT検査 8,000円

個人で行く場合は?

札幌がん検診センターか倶知安厚生病院のどちらかを選びます。受診券を発行しますので、ふれあい福祉センターに連絡をお願いします。

## 検査が終了!バスで帰ります。

家の近くでバスを降りられます。お疲れ様でした!!  
健診結果は後日送付されます。

17:00



## <お知らせ> 4月22日(月) 春のレディース検診(子宮がん・乳がん)

札幌がん検診センターへバスで行く検診です。定員は20名。  
4月10日(水)までに、ふれあい福祉センター健康づくり係まで申し込みください。  
TEL31-2940 IP端末番号31-2941

日本人女性の16人に1人が生涯で乳がんにかかる危険性があると言われています。子宮頸がんは、かなり進行しないと自覚症状が現れません。必ず検診を受けましょう。



菊田保健師

## 受付時間と診療医師のご案内

	月	火	水	木	金
8:30~11:30	藤原小嶋	藤原	藤原	藤原	藤原
13:30~16:30	藤原小嶋	藤原	藤原	藤原	藤原

【休診日】土曜日、日曜日、祝日  
【診療時間】9:00~12:00、13:30~17:00  
・毎週月曜日は、小嶋一医師も診療を行います。  
・喜茂別厚生クリニックの診察券をお持ちの方は、初診の際に受付でご提示ください。



【事務員】  
細田 高 (ほそだ たかし)  
●出身地 長野県松本市



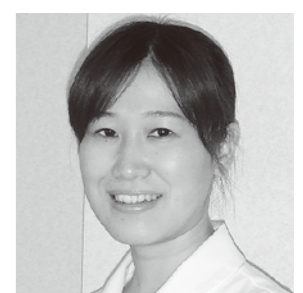
【事務員】  
渡辺 成和 (わたなべ しげかず)  
●出身地 札幌市



【事務員】  
斉木 知重子 (さいき ちえこ)  
●出身地 留寿都村



小嶋 一(こじま はじめ)医師  
●出身地 東京都  
●趣味 トライアスロン  
●抱負 毎週月曜日は喜茂別で診療します。末永く喜茂別町の皆様の健康に貢献したいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



岡川 香織(おかがわ かおり)看護師  
●出身地 蘭越町  
●趣味 食べること、散歩  
●抱負 厚生クリニックの時から地域の皆様にお世話になっております。まだまだ未熟者ですが、地域の方が安心して医療を受けられるよう、頑張っていきたいと思っています。お気軽にお声を掛けてください。どうぞよろしくお願ひいたします。

平成25年第1回定例議会について

平成25年3月12日に行なわれた第1回定例議会から、以下の3点について掲載します。

北海道大学大学院教育学研究院との連携協定について

3月6日に北海道大学大学院教育学研究院との間において、「連携協定書」を締結いたしました。

北海道大学大学院教育学研究院では、河口明人教授が喜茂別町民の健康状態や生活習慣の把握を目的とし



北大健診の様子(2011年)

「北大健診」を実施してきました。

北大健診を通じて、食生活や運動不足の影響による生活習慣病が多く、その予防と改善が重要であると河口教授からご提言いただきました。このたび、運動生理学等に基づき学術的な研究の一環として、同大学院教育学研究院が所有する健康運動機器を設置いただけることとなり、これまでの健診等の協力関係に問わず、今後においては地域医療、地域福祉、教育文化等の分野において、相互に協力・発展していくことを目指し、さらに包括的な連携を深めていくこととしました。

北海道大学公共政策大学院との連携協定と合わせて、今後のまちづくりを進めるにあたって、医療・福祉教育といった専門的な分野において力強いパートナーシップとなるものと考えています。

テルウェル東日本株式会社とのまちづくり支援協定書の締結について

3月6日にテルウェル東日本株式会社との間において、「まちづくり支援協定書」を締結いたしました。

本協定書は、喜茂別町とテルウェル東日本が相互に協力し、喜茂別町民が災害時に直面、若しくは広域的な災害が発生した際の町民の不安解消に向けた協定書となっています。

具体的な支援内容については、テルウェル東日本から役場庁舎内玄関風除室及び郷の駅情報発信プラザ内に災害対応型自動販売機の設置並びに公衆無線LAN機器の提供を受けるとともに、その設置

及び運営を行なうものです。災害発生時には、被災情報、非難情報及び自動販売機内の飲料水の無償提供を行ないます。

羊蹄山麓町村長会議の設立について

羊蹄山麓地域では、山麓に共通する各課題ごとに協議会を設置し、議論・決定を行なってきました。その実績や効果については、意義のある成果となっているものと認識しています。しかし、昨今の広域的な課題等に対しての迅速な対応が、より一層求められています。

すでに山麓における医療や廃棄物処理については、俱知安町が中心となり進めています。今後は、新幹線の対応、広域観光、災害時の協力体制の構築など新たな課題を抱えることとなります。

そのため、町村長同士の交流を密にし、行政課題に選考して協議し山麓の発展に資する必要があることから、羊蹄山麓町村長会議を設立することになりました。

また、役員と事務局については、喜茂別町が2年間の任期を担うこととなりました。情報の共有を図りながら、山麓の発展に尽力したいと考えております。

※平成25年度町政執行方針、平成25年教育行政執行方針及び行政報告(5件)については、おしゃべり回覧版で視聴することができます。

感謝!

2月20日、21日、平成24年度鈴川(2)地すべり対策2工区の工事に伴う地域貢献として、株式会社久保組(本社・小樽)による、鈴川小学校校舎裏の排雪作業が行われました。2日間に渡り、6名の作業員で校舎屋根や教員住宅の屋根から落ちて高く積もった雪を重機や人力でかきだし排雪しました。現場所長の山口さんは「工事をしていく地域役に立ってることができてよかったです。」と話していました。



校舎まわりがスッキリしました

平成25年度調理師試験について

○試験日時／平成25年8月29日(木)13時30分～16時

○試験地／札幌市

○受験資格

中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業し、給食施設又は飲食店営業、魚介類販売業若しくはそうざい製造業で、平成25年5月24日までに、2年以上調理の業務に従事した方。

○受験願書受付期間

平成25年5月13日(月)～5月24日(金)まで。

○受験願書配布場所

・各保健所・支所で配布しています。  
・北海道ホームページからダウンロードできます。  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/f/kth/kak/ktk/sikaku/chourishi-shiken-home.htm>

○受験願書提出先、お問い合わせ先

北海道俱知安保健所 子ども・健康推進課健康増進係  
〒044-8588 虻田郡俱知安町北一条東2丁目  
後志合同庁舎内

TEL 0136-23-1952

・余市支所

〒046-0015 余市郡余市町朝日町12

TEL 0135-23-3104

北海道岩内保健所 健康推進課

〒045-0022 岩内郡岩内町字清住252-1  
TEL 0135-62-1537

永井孝博さんが「きもべつ観光協会」会長に就任されました。

1月18日、「喜茂別町観光振興検討会」にて、農・商・工連携による観光振興と町内外に情報発信するための「きもべつ観光協会」の設立に向けた総会が執り行われ、3月7日、一般社団法人として認可され「きもべつ観光協会」が設立しました。会長には喜茂別郵便局長の永井孝博さんが就任されました。「観光協会として、ただ来てくれるのを『待つ』観光ではなく、喜茂別町を外へ向けて発信しアピールしていく方法を考えていきたい。アスパラやじゃがいもなど喜茂別町には誇るべき農産物があります。新しいことに挑戦することはもちろんですが、こうした元々あるものの魅力の掘り起しにも力を注いでいきたいです。」と語っていました。訪れた観光客を惹きつけて離さない魅力を発する町へ。新生、観光協会が始動しました。



永井孝博 会長

人口と世帯

(平成25年2月末現在)

人口 男 1,188人(-3人)

女 1,177人(+2人)

合計 2,365人(-1人)

世帯数 1,229世帯(+2戸)

( )内は前月比

## まいにち編集会議中!

広報きもべつ編集工房では、  
広報についての  
ご意見ご感想、  
取材&掲載依頼など  
広くお待ちしております。  
編集工房、もしくは  
役場総務課企画室まで  
お気軽にご連絡ください!

広報きもべつ2013年2月号に下  
記のとおり誤りがありました。  
誤記:打田類くん→訂正:打田瑠偉くん  
謹んでお詫び申し上げます。

## 心のこもった 手作りです。

喜茂別小学校の運動会等で使われ  
る紅白玉が古くなっているとの話を聞  
いて、昨年からデイサービスで紅白玉  
づくりが行われていました。一針一針、  
丁寧な縫製作業が行われ、400個(各  
200個)の紅白玉が完成。2月22日の、  
デイサービス利用者と喜茂別小学校3  
年生との交流会の際、児童たちへと受  
け渡されました。箱に詰められた紅白  
玉をみた児童たちは「わーたくさん」  
「きれいっ!」と声をあげていました。



ちば おうり  
千葉 桜季くん(旭町)



平成24年  
4月24日  
生まれ

お父さん  
大介さん  
お母さん  
智美さん

いつもニコニコ元気な桜季。  
これからも笑顔いっぱい  
大きく育ててね。



# すくすく 1歳です



ほんまゆうすけ  
本間悠祐くん(大町2)



平成24年  
4月30日  
生まれ

お父さん  
悠康さん  
お母さん  
こづえさん

産まれてきてくれて、ありがとう。  
元気に育ててね。  
私達は、悠祐が大好きだよ

## 喜茂別厚生クリニック 閉院式



(左から 菅原章嗣町長、北海道厚生連代表理事 奥野岩雄会長)

3月22日、ふれあい福祉センターに  
て喜茂別厚生クリニックの閉院式が執  
り行われました。昭和14年に喜茂別町  
立病院として開設された後、昭和23年  
北海道厚生連の設立に伴い町から経  
営が継承され喜茂別厚生病院となり、  
町民の医療を支えてきた69年の歴史  
に幕を閉じました。式典には60名あ  
まりもの町民が駆けつけ、永きに渡り地  
域の安心を支え、町唯一の公的医療機  
関として地域の第一次医療を担ってき  
た歴史を偲びました。